

【注意事項】

- ・ 解答の分量・字数は解答用紙(B4判)片面を基準とする。必要に応じて図解などを用いてもよい。
- ・ 大問IおよびIIは、解答用紙の冒頭で答えること。

- I. 右頁の史料①『平家物語』のテキスト中、傍線アおよびイの郡名の読みをひらがなで答えよ。(郡名などの地名には、読みの似た異なる漢字が用いられる場合もある。)
- II. 右頁の史料②は、京都市左京区上高野(叡電三宅八幡駅の辺り)にある崇道神社境内の古墓から発見された墓誌に記された文言である。傍線を付した被葬者の名前「毛人」について、現在考えられている最も妥当な読みを、ひらがなで答えよ。
- III. 7～9世紀の日本を含む東アジアにおいて共有された都城の立地と形態における特徴を、具体的な事例にも触れつつ述べ、その背景にある理念についても論じよ。
- IV. 「フェニキア人」とはどのような民族であったか述べよ。またフェニキア人がつくった都市の立地と形態における特徴について、具体的な事例にも触れつつ論述せよ。